

おおさき 議会だより



中学生と議員と語る会(関連記事12～13ページ)

3月定例会

こんなこと決めました

- 令和7年度当初予算…………… 2
- 令和6年度補正予算…………… 6
- 町政を問う(一般質問)……… 7

- 中学生と議員と語る会…………… 12
- 新しい議会の構成…………… 14
- インタビュー(ピックアップおおさき)…………… 17
- 町民の広場・編集後記…………… 18

い暮らしのために

131 億 191 万 5 千円

施される主な取り組み

学校体育館エアコン設置 設計業務委託料

小学校 320万円
中学校 80万円

全小中学校の体育館に設置するエアコン設置工事の設計業務委託および大崎小、持留小、大丸小、野方小と大崎中においては、LED照明を設置する設計業務委託料

防犯カメラ設置

小学校 572万円
中学校 77万円

菱田小を除く 5 小学校と大崎中学校に不審者対策として設置
(菱田小は本年度の校舎改修で実施予定)

酪肉生産者に基盤維持補助金

1,215万円

肉用牛および乳用牛を導入・保留した農家に対し、頭数に上限を設けて支援し、生産基盤の維持をはかることを目的とした補助金

消防分団に運営補助金

170万円

町民の生命および財産等保護のための、消防団の訓練および災害出動などの活動経費を補助

1 分団当たり 10 万円の均等割と、団員 1 人当たり 5,000 円の団員割の合計金額を支給

令和7年度大崎町一般会計予算

安心安全住みよ

事業拡充や新たに実

住宅取得補助金を増額

1億2,500万円

これまでの実施により、人口減少に一定の効果があったことと、近年の建築資材等の物価上昇で、子育て世帯の住宅取得が容易でないことを踏まえ、最大補助額をこれまでの310万円から最大500万円に拡充

物価高騰対応に給付金

5,550万円

令和7年2月から実施している、国の非課税世帯への給付金の対象とならなかった課税世帯等に対して、1世帯当たり1万円を支給、子育て世帯は子ども1人当たり1万円を加算

新年度予算に付帯決議

令和7年度当初予算の可決に当たり、委員から付帯決議の動議が出され全会一致で可決

リサイクルの取り組み (要旨抜粋)

環境衛生協力金に絡み、ごみ集積所の利用に関し、加入が任意である自治公民館等への加入・未加入者間でトラブルが全国で発生している。多くの自治体で、便宜上このような地域団体にごみ集積所の管理を任せていると思われるが、団体への未加入者に不利益が生じている事案が見受けられている。

この問題は、各ごみ集積所の管理をそれぞれの地域団体の自主的な取り組みに任せていることが原因と思われる。ごみ集積所の設置場所については借り上げ料での対応や、また、集積所の管理については当該団体に委託料を支払うなど、自治体で一元管理され、住民間で不公平感の生じない取り組みを早急に再考すべき時期にきていると考える。リサイクルの先進地といわれる本町が、先んじて新しい取り組みを展開されるよう要望する。

特別委員会意見

重点目標 1 および 3 について

問 高校生の寮や下宿等にかかる補助はできないか。

答 協議しながら前向きに検討する。

重点目標 2 について

問 空き家リフォーム補助金は審査委員会の意見書を反映しているか。

答 7 年度は倍額の 200 万円を提案。居住住宅に対しては今後検討。

重点目標 4 について

問 自助共助体制の強化はどのように実施していくか。

答 避難訓練や備蓄品の整備など周知啓発していく。

問 総合計画の前期計画時の基準年と目標年度である 2030 年の重要業績評価指標の数値が示されているが、後期計画見直しの時点で、現在の数値を示したほうが実態に即した計画や目標をとらえやすいのではないか。

答 今後の進捗状況を補足するためにも、適切に把握しやすいと認識している。



大崎町の未来予想図

第3次大崎町総合計画後期計画 第3期大崎町総合戦略(2030年の姿)

重点目標 1

働きがいのある、働きやすいしごとをつくとともに、しごとを支える人を育てる

- 農業で稼ぎ、地域に元気を与えるまち
スマート農業の実現や様々な利害関係者との連携
- 新しいしごとと新しい働き方があふれるまち
ICT技術の活用、テレワーク活用による移住
- スポーツを核に成長するまち
優れたスポーツ環境での合宿



重点目標 2

新しいひとの流れをつくとともに、住み続けたいくなるまちをつくる

- 住んでよかったと思えるまち
実感できる環境づくり、支援の充実
- 安心して子育てができるまち
世帯に対する支援、豊かな人間性を育む環境整備



重点目標 3

子どもの夢を育むまちをつくる

- 豊かな人間性を育むまち・安心して子育てができるまち
異文化との交流、体験活動の充実
- 歴史や伝統文化に親しむことができるまち
若者による継承や史跡を発信による紹介



重点目標 4

住み続けられる安心・安全で豊かなまちをつくる

- 安心、安全に暮らせるまち
災害に強いまちづくり、災害対応の拠点整備
- 高齢者や障がいのある人が安心して暮らせるまち
各種サービスの充実、地域共生社会の確立
- 地球温暖化の抑制に貢献するまち
住民による環境にやさしいまちづくり



総務厚生常任委員会

令和6年度一般会計補正予算審議

議案可決

広報提供サービス

未加入世帯文書発送郵送料
206万3千円減額

質問 郵送料が減額となっているが、その理由は何か。

答弁 総未加入世帯の半数千件程度の郵送希望を想定したが、アンケート結果により168世帯にとどまった。

毎日の健康をサポート

高齢者訪問給食サービス
149万4千円減額

質問 利用者が30名弱と聞くが周知はどのように行っているか。

答弁 必要とする方々に情報が届くよう今後も方法を検討していく。

未来に残す美しい浜辺

海岸漂着物地域対策推進事業
109万7千円減額

質問 大崎町シルバー人材センター委託と聞くが、減額の理由は何か。

答弁 当初の計画に対し89%の稼働率であった。
要望 美化と収入増につながる意味からも計画日数により近づけた作業を求める。



海岸漂着物の清掃作業

新たな収穫への挑戦

新規作物栽培実証委託料
33万5千円減額



実証ほ場における山椒の植え付け

質問 新規作物の名称及び減額の理由は何か。

答弁 作物は山椒である。減額となった理由は、栽培面積や作業日数など実績が契約を下回ったためである。

質問 今後、本町の新規作物となる可能性はあるか。

答弁 もちろん期待しており栽培マニュアルも作成予定である。

持続可能な経営への助力

大崎町畜産経営支援交付金
1048万4千円減額

質問 当初予算より減額となった理由は何か。

答弁 2月から4月において競り市価格が補償基準価格を上回ったことや補償金満額の3万円に満たなかった月もあった。

応援で届く故郷の味

ふるさと納税
6億円増額

質問 6年度寄附額が55億円になる見込みであるとのことだがその要因は何か。

答弁 返礼品で最も多く指定されるウナギが注文に対して切れ目なく出荷できたことが要因である。

一般質問

いな 稲 留 光 晴 議員

- ・第一次産業が抱える課題について
- ・休日の部活動での送迎補助について
- ・防火水槽のマンホール蓋と道路の段差解消について



P 8

くさ 草 原 正 和 議員

- ・菱田中学校跡地の利用について
- ・小学校数の維持について
- ・大崎町職員定員適正化計画について
- ・防災・減災の講習会開催について



P 9

わし 鷺 東 慎 一 議員

- ・医師不足解消の現況と方向性について
- ・移住・定住・子育て施策の進捗状況について
- ・企業誘致の現状と今後の方向性について
- ・第4次大崎町教育大綱に基づく方向性について



P 10

こ 児 玉 孝 徳 議員

- ・物価高騰対策における各世帯への給付金の助成について
- ・火災予防の広報について
- ・避難誘導看板や避難誘導灯の設置について
- ・菱田中学校跡地の進捗状況について



P 11

議会を傍聴してみませんか !!

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人受付票に住所・氏名などを記入していただくだけです。

なお、本会議は本庁舎3階の本会議場において、午前10時から行われます。一般質問があるときは、事前に防災無線でもお知らせしています。どうぞお気軽にお越しください。

4議員が登壇 町政を問う

一般質問とは

町長などの執行機関に対し、業務の執行状況や将来の方針などについて議員個人として政策論争を行うものです。

二次元コード※をスマホ等で読み込むと各議員の一般質問を視聴できます。

※バーコードを拡張するために開発された二次元コードは、端末を使って簡単にコードを読み取ることができます。

問い合わせ先：大崎町議会事務局 TEL 099-476-1111（内線 310・311）

第二次産業が抱える課題は何か

人材不足や資材の高騰

高騰などである



稲留 光晴 議員
いなる だめ 稲留 光晴 議員

問 町長の施政方針で第一次産業が抱える課題とは何か。

人材不足や資材の高騰

答 町長 すべての産業において共通の課題は人材不足や資材の高騰である。特有の課題として食料安全保障上のリスク回避など大きな変化が迫られている。

畑地化された水田における新規作物とは

問 水田における新規作物は何か。

山椒の実証栽培を開始

答 町長 令和6年度において永吉梅谷地区で山椒の実証栽培を開始している。

畜産における持続可能な対策とは

問 物価高騰による経費圧迫、経営の悪化などの現状だが、持続可能な対策とは何か。

関係機関との連携をはかり支援策を講じる

答 町長 後継者の育成、担い手不足、高齢化が進み離農者が増えつつある中で、令和7年度の予算でも支援策を講じる。

蓄電池の普及に努める とは具体的に何か

問 太陽光パネルと蓄電池をセットで新規のみ補助するののか。

住宅用蓄電池システム 一基に15万円を補助

答 町長 新規のみ蓄電池一基に15万円を補助する。太陽光パネルは対象外である。

休日の部活動で送迎補助はできないか

問 現在、休日はスクールバスは走らないが、送迎にも補助を出せないか。

補助は難しい

答 教育長 部活動への参加は自主的な選択によるものであるため補助は難しい。中学校体育連盟主催の大会については、町のバスによる送迎を実施している。

下水道管の埋設状況は

問 本町下水道管は径80センチ、深さ3メートルであるが、埋設状況は。

平成9年度より管の埋設工事を実施

答 町長 管路延長は令和6年度末で約54キロメートル、耐用年数はポンプ場処理場土木建築構造物で50年、機械電気設備で10年から30年とされている。

防火水槽のマンホール蓋と道路の段差解消を

問 県道大崎輝北線三文字道路中央に埋設してある。防火水槽のマンホール蓋と道路段差の恒久的補修はできないか。



補修を繰り返してきた段差部分

恒久的補修は厳しい

答 町長 これまでも繰り返し補修を行ってきたが、軟弱地盤であること、また、交通量も多いことから恒久的補修は厳しい状況にある。今後の対応は通行車両や地域住民の方々へ支障が生じないよう引き続き維持補修に努める。

他 質問事項

自転車歩道通行禁止の広報を周知

菱田中学校跡地を活用せよ

企業誘致に全力で取り組む



くさはら まさかず 議員
草原 正和

問 更地になってから長い年月放置されて、利用提案も議会から幾度となくされている菱田中学校跡地の利用について明確な回答を求める。

模索から実行へ

答 町長 企業誘致を最優先に再検討し、誘致につながるような働きかけを行っている。公表できる段階で速やかに情報公開する。



利活用が求められる菱田中学校跡地

小学校数は維持できるか

問 第3次大崎町総合計画後期計画や大崎町こども計画の素案では、少子化が改善されるとは思えないが、50人前後の出生者数で現在の小学校数が維持できるのか。

維持できるよう努める

答 教育長 小学校の運営については、在籍生徒数が1名になっても統廃合しない限り、教職員の適正な配置のもと小学校機能は維持されることになっている。

小規模校は守れるか

問 学習や生徒同士の付き合い方、不登校生徒との向き合い方など小規模校ならではのメリットを聞く機会が増えたが、こどもの学べる場、地域との結びつきを守れるか。

地域協力をお願いする

答 町長 存続できるような施策の強化をはかっている。同時に、学校行事への参加や学校訪問、空き教室を活用したり地域住民が盛り上げていくという心構えも大事だと思っている。

職員数は足りているか

問 人口は減っているが、地域活動の担い手もいなくなり、地域の維持や多様な相談など、ふるさと納税、スポーツ観光、防災や高齢者福祉等行政業務は増加していると思われるが、現行の職員定員適正化計画で運営に支障はないか。

適正な人員確保に努める

答 町長 職員の人員不足により会計年度任用職員を補充する等の対策を行っているが、兼任業務などポストが増加するなど業務への職員負担も大きくなっている現状がある。独自政策に伴う新規事業に応じて人員確保に努め、行政サービスの向上と働きがいのある職場環境づくりに努める。

講習会を開催すべき

問 消防用ホース格納箱、AED、小学校に設置の3階からの避難装置等、町内に設置してある防災・減災のための設備や人命救助用器具の使用方法講習会等を開催できないか。



消防用ホース格納箱（三文字地区）

積極的に取り組む

答 町長 設備が整っていても活用できなければ人命や財産を守ることはできない。行政としても関係機関、団体と連携をはかり使用講習会や説明会、情報の周知に積極的に取り組む。

医師不足解消の現況と方向性は

内科のサテライト分院や 公設民営の検討を進める



議員 慎一 東 しょういち しょうとう

ライト分院・公設民営開設の提案があった。今後、サテライト分院に特化した補助制度を始めたい。

内科優先の方向転換に伴う小児科誘致の方向性は

問 当初小児科と内科の誘致だったが、今回から内科のみの誘致とした理由は何か。

志布志市の動向を注視し内科を優先

答 町長 小児科医を受け付けられないわけではなく志布志市の状況を見るべきとアドバイスを受け、優先すべきは内科医と考えている。

移住・定住・子育て施策の進捗状況は

問 今まで実施した事業効果と評価の認識は、また、こども家庭総合支援拠点の目的と内容は。

若年層の確保が課題である

答 町長 各種子育て支援策を組み合わせ実施し、若年層や子育て世帯を本町に呼び込む新たな移住応援支援金、住宅取得補助金を最大500万円に拡充し、効果を高めたい。

大崎第一中跡地はプロポーザル募集を実施し、既存施設活用を優先する。
第4次大崎町教育大綱に基づく方向性は

問 本年制定される第4次大崎町教育大綱を踏まえた町長、教育長の教育行政を進める方向性は。

首長が大綱を策定する

答 町長 法律を踏まえ進め、地域で育ち世界で活躍する人材育成や郷中教育へ取り組み、校区単位での教育を実践する。

企業誘致の現状と今後の方向性は

問 企業誘致制度拡充の具体的な誘致の施策及び効果と取組実績・評価は。

新たにプロポーザル募集

答 町長 これまで26社、合計34回の協定締結し、近年は2社で、新たに、

問 本町の医療機関は減少し、残る施設も医師の高齢化と後継者不足が深刻な状況である。「医療確保プロジェクト」など、施策の進捗状況と方向性は。

サテライト分院に特化した補助制度を検討

答 町長 平成初期には10カ所程あり、現在3カ所の診療所で、令和6年に開業医支援事業補助金制度を開始、問い合わせはあるが申請はない、町内の先生方の意見でサテ

【令和7年4月時点】

鹿児島県大崎町 医療確保プロジェクト

大崎町では地域の医療体制を確保するため、町内で医療活動を行おうとする医師・医療法人等を支援します！

プロジェクトの概要は・・・

- ①開業医支援事業補助金…最大2億円
町内に診療所等を新規に開業又は既存診療所を承継して開設する方に対し、開設に必要な経費を支援
(土地・建物・医療機器の取得費や賃借料、固定資産税など)
- ②サテライト診療所設置運営等支援事業補助金…最大2億円
町内にサテライト・分院により診療所を開設する医療法人等に対し、設置費用及び運営費を支援
(土地・建物・医療機器等の取得費や賃借料、開設にかかる運営費など)

第2弾 内科を掲げる診療所 (医師の専門科は問いません)

【問合せ先】
鹿児島県 大崎町役場 保健福祉課 健康増進係
TEL 099-476-1111 (内線134)

大崎町医療確保プロジェクトのご案内

4市5町医療機関数		令和7年4月1日現在
種別	診療所	へき地診療所 病院
定義	医療機関のうち、19以下のもの	規模の大規模な医療施設で、20以上の患者を収容している
鹿屋市	53	13
垂水市	6	1
東串良町	3	
錦江町	4	2
南大隅町	3	2
肝付町	7	2
曾於市	9	1
志布志市	18	5
大崎町	3	2
計	106	5

※県届け出情報による

※1 サテライト分院

大きな病院が外来診療を行い運営する入院施設がない診療所。

※2 プロポーザル 業者が委託する際の選定方式で最も適した提案内容を提示した企業を総合的に評価し選定する。

物価高騰対策で各世帯へ給付金を

国の給付対象外の世帯へ給付



議員 徳孝 高尾

資を提供する考えはないか。

地域応援商品券の発行で

問 生活支援、福祉対策として各世帯への給付金や補助金の助成はできないか。

答 町長 全世帯への現金給付及び地域応援商品券の発行で商工業者を支援する。他に

- ・企業価値向上補助金
- ・空き店舗対策事業補助金
- ・新規創業起業支援補助金
- ・商工業利子補給補助金などの施策がある。

農林漁業の支援はあるか

問 農林漁業の支援策として、地域の生産者向けの燃料費補助や価格安定のための支援策はあるのか。

交付金・補助金を助成してきた

答 町長 農業用及び水産業用原油原材料価格高

騰緊急対策事業交付金を認定農業者や水産業者に交付、配合飼料価格高騰対策補助金を畜産業者に助成してきた。価格安定は近隣自治体と同等の支援をする。

火災が多発しているが火災予防広報を増やせないか

問 火災が昨年末から町内で多発し、環境への影響も懸念されるが、特に乾燥する時期には広報活動を増やせないか。

消防団・消防署と連携し呼び掛ける

答 町長 消防団、防災無線や広報誌による広報、火災予防啓発に努めているが、改めて消防署・消防団と連携し十分に注意するよう呼びかけたい。

避難誘導看板や避難誘導灯の設置はできないか

問 大規模災害時に避難所への案内標識が必要だ



太陽光発電のLED防犯灯
(志布志市内)

菱田中学校跡地の進捗は

問 菱田中学校跡地の請願では地域コミュニティ協議会の活動拠点として地域コミュニティセンターが必要であり、子ども食堂や郷中学校舎、中学校のバス停の待合室も兼ね、アスリート食堂や売店、集会場となるとあるが進捗はどうか。

進捗があった時報告する

答 町長 跡地は本町及び菱田地区の活性化につながるため全力を尽くし、進捗があった場合に報告する。コミュニティセンターの設置は、十分協議をする必要があると思う。

防災計画をもとに迅速に取り組む

答 町長 案内標識は、外国人や本町の地理に詳しくない方が迅速に避難するために必要なもので、案内標識や看板・避難誘導灯は防災計画をもとに、住民のニーズに応じた場所等を検討し迅速に取り組む。

問 中小企業に燃料費、原材料費高騰への支援金や商品券発行、低利の融

中小企業への支援策は

国の給付の対象とならなかったところへ給付する

答 町長 国の給付金の対象とならなかった世帯に対し、1世帯当たり1万円と子ども1人当たり1万円を加算する。

観光・施設に関する提案と回答

くにの松原キャンプ場のリゾート化提案



生徒会 くにの松原キャンプ場をもっと観光地として活性化するため、リゾート地のように整備してはどうか。そのことで、利用者や観光客が増えるを考える。加えて、利用者がSNSなどに投稿することで話題となり、大崎町の魅力が広まり、町への関心を持つ人が増えるのではないかな。

議員 現在『観光施設のあり方検討会』で議論を進めており、非常に貴重な意見。今後も積極的に声を届けてほしい。

ジャパンアスリートトレーニングセンターの一般開放



生徒会 ジャパンアスリートトレーニングセンターは、陸上部のための施設というイメージが強く、もっと地域の人や家族連れも気軽に使える運動施設が必要ではないかな。

議員 センターは県の管理施設であるため町の管轄外だが、大崎町としてスポーツ推進を掲げており、町としても意見を伝えていく。

空き家活用による無人販売所



生徒会 空き家に手作り作品や野菜・米などを置いた無人販売所として活用し、SNSで宣伝してはどうか。そうすることで、町の魅力や地域の活動を発信できると思う。

議員 空き家支援制度があり、議員からも新提案が出ている。SNS活用のために専門職員の配置なども検討課題にしたい。



議員と語る会(大崎中)

学校環境の改善と自由な場所づくりへの要望

体育館での映画上映会

生徒会 公民館や学校体育館で映画上映を行ってほしい。中学校の体育館を使うことで、小学生が中学校の雰囲気を感じられる場にもなるのでは。

議員 著作権など課題はあるが、地域交流の場として意義は大きく、形にできるか協議したい。

体育館への冷房設置

生徒会 暑さのために体育や部活動に制限が出ており、冷房設置を望む。

議員 総合体育館では空調を整備。学校体育館も計画に入れるべきと考えている。

掲揚設備の老朽化改善

生徒会 校庭の旗を掲げる設備が古く、風の強い日には困っている。紐をワイヤー式にできないか。

議員 担当課と協議し、改善に努める。

校庭の砂質改善

生徒会 砂が細かく、走ると目に入り、靴も汚れる。芝生化や粉じんが少ない土への変更を希望。

議員 これまでにも対応してきたが、今後さらに改善を検討。

生徒会室の確保

生徒会 来年度1クラス増設予定で教室が足りず、生徒会室が廃止されそう。

議員 状況を確認のうえ、必要なスペース確保を検討。

生徒会専用ノートパソコンの整備

生徒会 現在はパソコン室のPCを使用し、USBでやり取りしているが、管理上の問題もあり、専用ノートパソコンが数台必要。

議員 用途や頻度を踏まえ、役場の担当課に要望を伝えてほしい。

自由に使える場所づくり

生徒会 遊具、スポーツ、イベントができる場所や、誰でも入れるフリースペース、叫んだりはじけたりできる開放的な場を希望。

議員 こうした自由な発想を大切に、具体的な形にするよう検討を進めたい。



後期の新しい議会 構成決まる!!

令和7年第2回臨時会が、5月1日に招集されました。議長をはじめ、各常任委員等が選任され、後期の新しい議会構成が決まりました。



議長
吉原 信雄



副議長
鷺東 慎一

▼各常任委員の選任

総務厚生常任委員会

委員長	宮本 昭一
副委員長	稲留 光晴
委員	中倉 広文
委員	富重 幸博
委員	鷺東 慎一

文教経済常任委員会

委員長	中山 美幸
副委員長	藤田 香澄
委員	神崎 文男
委員	児玉 孝徳
委員	岡元 修一
委員	草原 正和

議会運営委員会

委員長	児玉 孝徳
副委員長	富重 幸博
委員	宮本 昭一
委員	岡元 修一
委員	藤田 香澄

広報広聴常任委員会

委員長	岡元 修一
副委員長	中山 美幸
委員	中倉 広文
委員	宮本 昭一
委員	神崎 文男
委員	稲留 光晴

▼曾於南部厚生事務組合議会議員

吉原 信雄
藤田 香澄

▼曾於地区介護保険組合議会議員

岡元 修一

▼大隅曾於地区消防組合議会議員

鷺東 慎一

▼曾於地域公設地方卸売市場管理組合議会議員

藤田 香澄

▼監査委員の同意

神崎 文男

議長就任のあいさつ

議長就任にあたり、一言、ごあいさつを申し上げます。

5月1日開催の令和7年第2回大崎町議会臨時会において、大崎町議会の後期の議会構成・常任委員会構成の改選が行われ、この度、第29代議長の要職に就くことになりました。身に余る光栄とその職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

二元代表制の一翼を担う議会として、執行部とは一定の距離を保ちつつ、町政の監視機能はもちろんのこと、町民の皆さまの声に耳を傾け、積極的に政策提言等に取り組み、議会としての役割を果たしてまいりたいと思います。

何とぞ今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。略儀ながら書中をもって就任のあいさつといたします。

大崎町議会議長

吉原 信雄

総務厚生常任委員会



委員長
宮本 昭一



副委員長
稲留 光晴

文教経済常任委員会



委員長
中山 美幸



副委員長
藤田 香澄



委員
中倉 広文



委員
富重 幸博



委員
神崎 文男



委員
児玉 孝徳



委員
鷲東 慎一



委員
岡元 修一



委員
草原 正和

政策提言書をもとに 予算化された事業

大崎町議会では、令和6年度に実施した議会報告会等で意見のあった項目を取りまとめた「政策提言書」を、令和6年12月2日に町長へ提出しました。

その中で、令和7年度の新年度の予算に反映された主なものを報告します。

①有害鳥獣対策として、ワイヤーメッシュ設置に対する町単独予算の支援
▼有害鳥獣電気柵等設置事業補助金は、令和6年度200万円から令和7年度は400万円に増額。内訳は電気柵(既存)に200万円、ワイヤーメッシュ設置(新規)に200万円が計上されました。

②資源保護施策の充実として、シラスウナギ放流事業の補助金増額
▼令和6年度10万円から令和7年度は100万円に増額されました。

③消防団活動の充実をはかるための各消防分団運営補助金の拡充

▼令和7年度から消防分団運営交付金を新設し、170万円を計上。内訳はひと分団当たり10万円計60万円。団員数割ひとり当たり5千円×220名、計110万円が計上されました。

大崎町議会では、議会報告会などの意見を課題として、全力で取り組んでまいります。

人事案件



(新任)

氏名 よしおか かつのり 吉岡 克倫 氏
(39歳)

住所 大崎町野方

【教育委員会委員】
教育委員会委員の任命について同意しました。



(新任)

氏名 かわばた さだひろ 川畑 定浩 氏
(64歳)

住所 大崎町菱田

【固定資産評価審査委員会委員】
固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

議案に対する可否状況

3月定例会に上程されたすべての議案等は、全会一致で可決・同意されました。



当初予算審議特別委員会



総合計画審議特別委員会

高井田めだか

純浦 幸平さんに聞きました

高井田めだか
純浦 幸平さん広報広聴常任委員会委員
鷺東 慎一 議員

鷺東議員

長年地元の方々に親しまれてきた「高井田養魚場」を承継し、メダカ店を始めようと思ったきっかけは何ですか。

純浦さん

インスタグラムで事業承継について募集していることを知り、応募したのがきっかけです。ここは湧水が豊富でメダカの飼育には最適です。開店して今年で3年目を迎えます。

鷺東議員

メダカの種類と価格帯についてお聞かせください。

純浦さん

現在、取り扱っているメダカは約300種類で、金魚は15種類ほどとなっています。価格の安いものは、1匹100円のものから、一番高価なもので2万3000円となっています。

鷺東議員

こちらの店舗以外でも購入することはできますか。

純浦さん

町のまつりや安田農園さん、ほかには曾於市大隅町の道の駅でも販売させていただいており、好評を得ております。



鷺東議員

今後の事業展開などあればお聞かせください。

純浦さん

今後はインターネット販売にも力を入れていきたいと思っています。最近では、大崎町のふるさと納税の返礼品で出品させていただいており、特に東京にお住

まいの方からの注文が多くなっています。

メダカは、水温が高いほうが産卵や孵化が促され、稚魚も育ちやすくなるため、近いうちに敷地内にメダカ用のビニールハウスを建設したいと考えています。

今後は、金魚の販売にも力を入れていきたいと思っています。メダカや金魚に興味のある方は、ぜひ「高井田めだか」へお気軽にお立ち寄りください。

◆純浦さん、貴重なお話しありがとうございました。



私の想い

持留地区に子どもや地域の居場所を



もちっこもりのおうち
代表 柳原 路子

持留地区に子どもや

地域の方の居場所を作るために、たくさんの方々に協力いただき、ました。「もちっこもりのおうち」を開設するまで、地域の皆様の温かい支えや応援をいただき、心から感謝しています。

特に、空き家の清掃や、庭の草刈り、池の清掃など、持留小学校の保護者の皆様や地域の方々など、忙しい時間を割いて、すべてを

ボランティアでしていただきました。そのおかげで、子どもたちや地域の方々が集まる場所が整い、多くの方が集える空間が生まれま

した。毎週月曜日に開かれる「もちっこもりのおうち」は、子どもたちがとても楽しみにしています。自然体験や国際交流、探求心を育む活動を通じて、子どもたちには自立心や自己肯定感を養ってほしいと願っています。

また、地域の方々が子どもたちに習字などの知識を教えることで、お互いに学び合

い、地域の絆が深まりつつあります。地域の方々が「先生」として子どもたちに関わることで、自分たちも元気になる、子どもたちを見守る存在としての誇りを感じてほしいと思います。

「もちっこもりのおうち」では、

単なる遊びの場ではなく、地域の方々や子どもたちが共に成長し、支え合う場所としての役割も担っています。

この活動が広がり、持留地区の未来を明るく照らすことを願っています。小さな一歩で

すが、これからも皆さんとともに、さらに居心地の良い場所を作り上げていけることを楽しみにしています。ぜひ、気軽に遊びにいらしてください。「茶のんけきやんせ」



編集後記

若苗を揺らす風に、初夏の訪れを感じられる季節となりました。

さて、3月議会では令和7年度当初予算案、「第3次大崎町総合計画後期計画」及び「第3期総合戦略」について慎重に審議し、多くの生活支援策や、2030年に向けた中期計画を採択いたしました。本町においても人口減少による様々な問題が深刻化していますが、私たち議員は、町の未来への関心と期待を持っていただけに、今後も努力してまいります。大崎町の発展を温かく見守り、応援していただければ幸いです。

(岡元 修二)

議会広報広聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 吉原 信雄 |
| 副委員長 | 岡元 修一 |
| 委員 | 中山 美幸 |
| 委員 | 中倉 広文 |
| 委員 | 鷺東 慎一 |
| 委員 | 草原 正和 |

発行責任者

大崎町議会議長 吉原 信雄